

【主な参考文献】

―全集・選集―

- ・『定本親鸞聖人全集』法蔵館、一九六九年
- ・『真宗聖教全書』大八木興文堂、一九四一年
- ・『浄土宗全書』浄土宗開宗八百年記念慶讃準備局、一九七〇年
- ・『日本思想大系十五・旧鎌倉仏教』岩波書店、一九七一年

(以下五十音順)

- ・『金子大栄選集』在家仏教協会、一九九〇年
- ・『金子大栄著作集』春秋社、一九八〇―一九八五年
- ・『清沢満之全集』岩波書店、二〇〇二―二〇〇三年
- ・『清沢満之全集』法蔵館、一九五三―一九五六年
- ・『曾我量深選集』弥生書房、一九七〇―一九七二年
- ・『曾我量深講義集』弥生書房、一九七七―一九九〇年
- ・『曾我量深説教集』法蔵館、一九七八年
- ・『曾我量深説教随聞記』法蔵館、一九七七―一九七八年
- ・『寺川俊昭選集』文栄堂、二〇〇八―二〇一三年
- ・『信國淳選集(新編)』樹心社、二〇〇五年
- ・『平野修選集』文栄堂、一九九九―二〇〇八年
- ・『松原祐善講義集』文栄堂、一九九〇―一九九一年

- ・『安田理深選集』 文栄堂 一九八三—一九九四年
- ・『安田理深講義集』 彌生書房 一九九〇年

— 著書・共著・編集 —

- ・『真宗聖典』 東本願寺出版部 一九七八年
- ・『大乘の仏道—仏教概要—』 東本願寺出版部 一九八七年
- ・『浄土の真宗—真宗概要—』 東本願寺出版部 一九八九年
- ・教学研究所編『親鸞聖人行実』 東本願寺出版部 二〇〇八年

(以下五十音順)

- ・阿部謹也『自分のなかに歴史を読む』 筑摩書房 二〇〇七年
- 『「世間」とは何か』 講談社現代新書 一九九五年
- ・井川定慶『法然上人伝全集』 内外印刷株式会社 一九五二年
- ・池田勇諦『教行信証』に学ぶ— 四卷』 真宗大谷派東京教区 二〇一一年
- 『真実證の回向成就』 東本願寺出版部 二〇〇六年
- ・石井教道『昭和と新修 法然上人全集』 平楽寺書店 一九五五年
- ・今村仁司『親鸞と学的精神』 岩波書店 二〇〇九年
- ・織田顕祐『大般涅槃經序説』 東本願寺出版部 二〇一〇年
- ・小野蓮明『顕浄土真実文類』 講讀—証大涅槃の真因—』 東本願寺出版部 二〇〇二年
- ・梯 信暁『奈良・平安期浄土教展開論』 法蔵館 二〇〇八年

- ・蒲池暁青偏『曾我先生実語抄』円照寺、一九八五年
- ・清沢満之『精神界』論文集』大谷大学真宗総合研究所、一九九九年
- ・児玉暁洋『清沢満之に学ぶ 現代を真宗に生きる』樹心社、二〇〇二年
- ・児玉暁洋・寺川俊昭『世界を開く仏教』樹心社、二〇〇七年
- ・末木文美士『鎌倉仏教形成論』法蔵館、一九九八年
- ・曾我量深『曾我量深講義集上・下』春秋社、二〇一一年
- 『曾我量深集上・下』東本願寺出版部、一九七八年
- 『未来について』文明堂、一九八六年
- ・曾我量深・金子大栄『往生と成仏』法蔵館、一九八四年
- ・田代俊孝『唯信鈔文意』講讚』東本願寺出版部、二〇〇九年
- ・津曲淳三編『曾我量深先生の言葉』大法輪閣、二〇一一年
- ・寺川俊昭『真宗の大綱』文栄堂、二〇〇七年
- 『親鸞の仏道―『教行信証』の世界（シリーズ親鸞第四卷）』筑摩書房、二〇一一年
- ・寺川俊昭・本多弘之『親鸞に真実を求めて―伝統に自己を聞く―』樹心社、二〇〇七年
- ・中村 薫『華嚴経』に学ぶ』東本願寺出版部、二〇一三年
- ・西谷啓治『宗教とは何か』創文社、一九六一年
- ・延塚知道『教行信証―その構造と核心』法蔵館、二〇一三年
- 『『教行信証』の構造』東本願寺出版部、二〇一三年
- 『清沢満之と歎異抄』文栄堂、二〇〇四年
- 『続 清沢満之と歎異抄』文栄堂、二〇〇五年

- 『求道とは何か』 文栄堂二〇〇四年
- 『講讚浄土論註一・二卷』 文栄堂二〇一二年
- 『浄土論註』の思想究明―親鸞の視点から― 文栄堂二〇〇八年
- 『親鸞の説法―『歎異抄』の世界(シリーズ親鸞第七卷)』 筑摩書房二〇〇八年
- 『われはかくの如く如来を信ず』 具足舎一九九五年
- ・延塚知道・寺川俊昭『大乘の自覚道』無量塾二〇一三年
- ・平野 修『荒野の白道―真実の浄土を求めて』法蔵館二〇〇二年
- 『信の仏道―『教行信証』「信卷」別序講義』 同朋共学研修会一九九九年
- 『親鸞の信の深層』法蔵館二〇〇〇年
- ・廣瀬 杲『観経四帖疏講義』法蔵館一九九五年
- 『眞宗救済論』法蔵館一九七七年
- ・星野元豊『講読教行信証』法蔵館一九九七―一九八三年
- ・本多弘之『根本言としての名号』東本願寺出版部二〇一〇年
- 『人間の大地に立つ―親鸞の信について―』草光舎一九九八年
- ・松原祐善『大無量寿経講讚―悲化段を中心として―』東本願寺出版部一九七五年
- 『大無量寿経に聞く』教育新潮社一九六六年
- ・水島見一『大谷派なる宗教的精神―真宗同朋会運動の源流』東本願寺出版部二〇〇七年
- ・安田理深『願生浄土―浄土論によりて―』永田文昌堂一九六七年
- 『はじめに名号あり』金剛寺夏季講習会三十周年記念出版委員会一九七八年
- 『因位の願心』金蔵寺夏季講習会四十周年記念出版委員会一九八八年

『自己に背くもの』文明堂一九六八年

・安富信哉『真実信の開頭―『教行信証』「信巻」講究―』東本願寺出版部一九〇七年

『親鸞と危機意識―新しき主体の誕生―』文栄堂二〇〇五年

・山辺習学・赤沼智善『教行信証講義』法蔵館一九五一年

―論文・講演録―

(以下五十音順)

・池田勇諦「即得往生の開頭―上田義文博士の「親鸞の『往生』の思想」に導かれて」(『親鸞体系 思想篇』第十卷) 法蔵館一九八九年

「仏土と仏道―『教行信証』題号義―」(『真宗研究 真宗連合学会研究紀要第五六輯』) 真宗連合學會二〇一二年

・金子大栄「真実証」(『親鸞体系 思想篇』第九卷) 法蔵館一九八九年

「普遍の法と必然の理―『教行信証』の諸問題(八)」(『親鸞教学第一〇〇号』) 大谷大学真宗学会二〇一二年

・神戸和磨「親鸞の仏弟子論―仏性と一闡提―」(『親鸞教学第四四号』) 大谷大学真宗学会一九八四年

・佐々木秀英「願生浄土―願生心に賜る法蔵の意欲―」(『大谷大学大学院研究紀要第二七号』) 大谷大学大学院二〇一〇年

「誓願一仏乗―本願力によって実現する無上仏道―」(『親鸞教学第一〇〇号』) 大谷大学真宗学会二〇一三年

・曾我量深「真宗の生活―往生と成仏」(『親鸞体系 思想篇』第九卷) 法蔵館一九八九年

「不断煩惱得涅槃」(『親鸞体系 思想篇』第十卷) 法蔵館一九八九年

・平 雅行「法然のあゆみとその教え」(『法然生涯と美術』京都国立博物館) 京都新聞社二〇一一年

・坪井俊映「黒谷隠遁の法然上人」(『法然浄土教の総合的研究』) 山喜房仏書林一九八四年

・能島 覚「親鸞の用いた『往生礼讃』をめぐる」(『日本古写経善本叢刊 第四輯』―『集諸経礼懺儀 卷下』) 國際佛教學大學院大

學學術フロンティア実行委員會二〇一〇年

- ・延塚知道 「往相道の根拠―『浄土論註』を中心にして」(『親鸞教学第四九号』大谷大学真宗学会一九八七年)
- 「『教行信証』の思想研究―近代教学の成果を踏まえて―」(『真宗総合研究所紀要第三〇号』大谷大学真宗総合研究所一九八三年)
- 「大乘の至極―往生浄土から大般涅槃道へ―」(『親鸞教学第九五号』大谷大学真宗学会一九八〇年)
- 「『歎異抄』から『教行信証』へ」(『親鸞聖人七百五十回御遠忌記念論集上卷』筑摩書房一九八一年)
- ・藤原幸章 「体失往生と不体失往生」(『親鸞体系 思想篇』第九卷) 法蔵館一九八九年
- ・本多弘之 「還相回向と正定聚」(『大谷学报第六二卷第二号』大谷学会一九八二年)
- 「末法思想と現代―末法思想再考」(『親鸞聖人七百五十回御遠忌記念論集上卷』筑摩書房二〇一一年)
- ・水島見一 「曾我量深の自覚道(上・下)」(『親鸞教学第九八・九九号』大谷大学真宗学会二〇一二年)
- ・山高秀介 「親鸞における信仰主体の成就―三一問答を通して―」(『大谷大学大学院研究紀要第二七号』大谷大学大学院二〇一〇年)
- 「善導の三心釈―三心一心問答の思想的背景として―」(『真宗研究 真宗連合学会研究紀要第五五輯』真宗連合學會二〇一一年)
- ・吉田宗男 「『教行証文類』における『涅槃経』『華嚴経』連引について」(『印度学仏教学研究第四二卷 第二号』印度學佛教學會一九九四年)